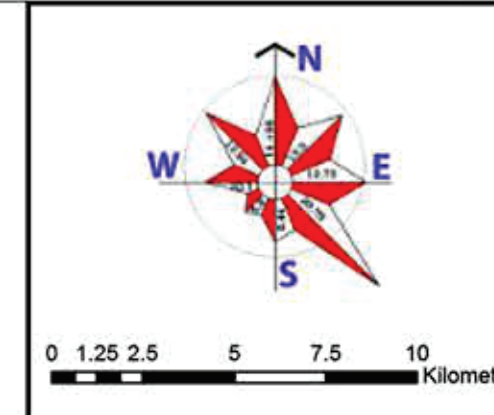


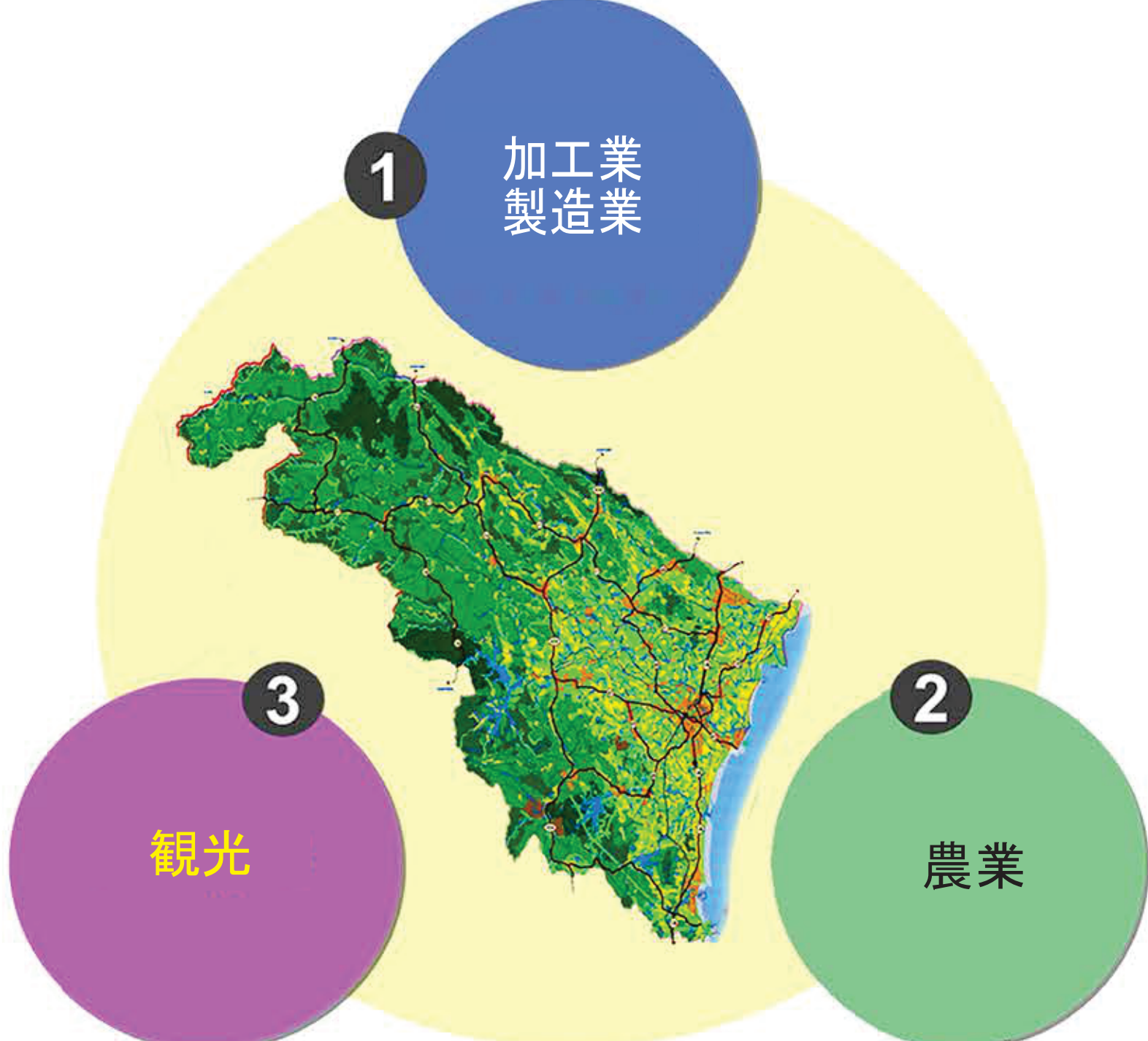
2045年を見据えた2021-2030年期間のタインホア省の計画
空間構成と機能地域の地図



04 つのダイナミックな経済の中心地

1. 南部の中心地（ギソン経済区）
2. タインホア市・サムソン市の中心地
3. 西部の中心地（ラムソン・サオヴァン）
4. 北部の中心地（ビムソン・タックタン）

開発の 03 本柱



地域5号
地区間地域の山岳地帯：エコツーリズムや文化観光の発展に伴い、特別用途林、保護林、自然保護区を保護し、促進する；薬用植物の林業生産・畜産・大型牛・林産加工業の発展を計画する。ハイク農業、大木の植林、農産加工業、食品工業、建築材料製造業、繊維工業を、条件の許す限り発展させる。

地域3号
(1) 特徴：タインホアとハノイ、紅河デルタ、東北地方を結ぶゲートウェイであり、同省の北のダイナミックな地域です。
(2) 開発方向：建築材料、加工、製造、繊維、履物、製菓などの産業を発展させる；農林水産物の加工、文化観光、エコツーリズム、果樹、産業植物、牧畜、漁業開発、養殖を主要商品とする大規模でハイクな農業生産。

06 つの経済回廊

1. 沿岸経済回廊：海岸道路を通じてタインホア省と北部の各省（クアンニン、ハイフォン、タイビン、ナムディン、ニンビン）及びゲアン省を結ぶ。開発方向：海洋経済。そのうち、観光、海洋サービス、海事経済、漁業に焦点。
2. 南北経済回廊：国道1Aや南北高速道路を通じて、タインホアとハノイ首都、北部・北中部地方を結ぶ。開発方向：都市・工業・サービス業に焦点。
3. 中央経済回廊：マー川の南部大路、レーロイ大路、タインホア市からトースアン空港への道路を通じてサムソン市、タインホア市、トースアン県を結ぶ。開発方向：都市・工業・サービス業に焦点。
4. 国際経済回廊：トースアン空港からギソン経済区への道路、ホーチミン高速道路、国道15号線、国道217号線、ナムオ国際国境ゲートを通じて、ギソン港、トースアン空港と北西部の各省、及びラオス人民民主共和国を結ぶ。開発方向：輸出入サービス、港湾サービス、物流、工業に焦点。
5. ホーチミン高速道路の経済回廊：タインホア省をハノイ、北部の各省及びゲアン省と結ぶ。開発方向：ハイク農業、農林産物加工産業、「農業高速道路」に焦点。
6. 東北経済回廊：国道217B号線、国道217号線を通じて、ラックソン港・ガーソン県・ビムソン県・タックタン県を北部の各省と結ぶ。開発方向：加工産業、製造業、文化観光業に焦点。

地域2号
(1) 特徴：タインホア省の中部デルタ地帯と中部を合わせ、陸路と空路の重要な交通の拠点となっている。
(2) 開発方向：集中的にクリーン、安全で持続可能な農業と林業、ハイク産業、観光サービスを目指す。省のハイク工業団地に発展させることでラムソン・サオバン工業団地を、電子、通信、航空、情報技術、ハイク農業の分野を重点とする。文化、歴史、エコツーリズム、リゾート、コミュニティツーリズムの観光を開発する。

中心地（地域1号）：
(1) 特徴：タインホア市・サムソン市は、都市間クラスターを含むタインホア省の中心部の推進力であり、タインホア省の総合センター・省都としての機能を備えた中核地域です。
(2) 開発方向：多部門、多分野を発展させる；インフラ整備と都市経済、高付加価値技術やサービス産業の開発、海洋経済分野、エコツーリズムや文化観光に近い海洋観光、環境に優しいグリーンエネルギーの開発、持続可能な有機農業などに重点を置いている。

地域4号
(1) 特徴：タインホア省が地方及びベトナムの経済センターになるための重要な原動力であり、ギソン経済区に関連する南部の中心地です。
(2) 開発方向：ギソン経済区に関連する石油化学精製業、重工業、加工製造業；海洋経済分野；経済圏の開発ニーズに応える都市開発・サービス業の開発。

- 注釈
- 主要都市 - 第1類都市
 - 省直轄市 - 第2類都市
 - 省直轄市 - 第3類都市
 - 省直轄市社 - 第4類都市
 - 県直轄市社 - 第5類都市



現状	企画	
		国際国境ゲート
		工業団地
		世界文化遺産
		観光地
		高速道路インターチェンジ
		空港
		国家特別史跡
		火力発電所
		貨物港
		ハイク農業地域